

塩蔵わかめの水分量・塩分量測定器を試作しました

岩手県工業技術センター（理事長 木村卓也）では、公益財団法人JKAの補助を受け、株式会社ピーアンドエーテクノロジーズ（代表取締役 大関一陽）との共同研究により「塩蔵わかめの品質測定器」の試作開発を行いました。

岩手県わかめ生産量は全国1位であり、肉厚で品質の高いわかめとして流通しています。塩蔵品の保存性は含有する水分量・塩分量に大きく依存することから、品質管理のためにはこれらを定量的に把握することが重要です。本試作装置は水分量・塩分量を同時に短時間で測定するもので、生産現場でデータを確認しながら、安定した品質の塩蔵わかめの生産が可能となります。

工業技術センターの技術シーズを活用
物体の成分量測定装置（岩手県工業技術センター）特願2017-71222



塩蔵わかめ水分量・塩分量測定器



センサー

※試作開発は、公益財団法人JKA 平成30年度
「公設工業試験研究所等が主体的に取組む共同研究補助事業」により実施しました。



※ ご不明な点がございましたら、電話またはメールにてお問い合わせください。

地方独立行政法人岩手県工業技術センター

<http://www2.pref.iwate.jp/~kiri/>

〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡2-4-25 TEL:019-635-1115 FAX:019-635-0311

E-mail: CD0002@pref.iwate.jp

担 当: 電子情報技術部 箱崎 義英